

史料編纂所所蔵『先徳卷数』

新井重行

本稿は、本所が近年購入した『先徳卷数』（請求記号：〇〇一四一⁽¹⁾）の紹介と翻刻を行うものである。これは主に小野流の卷数を集めたもので、年月日が不明なものを含むが、表裏併せて、延喜二十一年（九二一）から久安三年（一一四七）までの卷数二八通・請僧交名二通・書状一通を収める。すでに『覚禪抄』などに収載されて既知の卷数もあるが、これまでに把握されていなかったものを多く含むほか、書入により阿闍梨が特定されるものもあり、有用な情報を含むと言えよう。

【書誌】

本書は卷子装、無軸、表紙を含め全二七紙からなる。表紙は本紙とは別の料紙であり、外題に「大先徳卷数 成賢」、見返しに目録が記されている。仁王経・孔雀経の項には裏書を有する。

法量については、紙高二八・五cm、紙幅はそれぞれ(1)（表紙）二六・〇、(2)三六・七、(3)六・二、(4)三五・六、(5)五一・六、(6)一八・六、(7)四七・二、(8)三四・九、(9)五四・〇、(10)五三・九、(11)五四・〇、(12)五三・八、(13)五四・〇、(14)三九・三、(15)一一・〇、(16)二三・四、(17)一四・三、(18)五四・〇、(19)五三・八、(20)五三・九、(21)五三・九、(22)五三・八、(23)五三・七、(24)五三・八、(25)五三・七、(26)五三・六、(27)四九・八cmである。(4)を除く全ての紙には、上下の界線および幅約2cmの界線を有する

(4)は上下の界線のみ)。このうち(4)、(7)、(15)(16)紙に記された三点の卷数には宿紙が用いられている。これ以外の卷数は、紙継目を意識せずに書き継がれている。

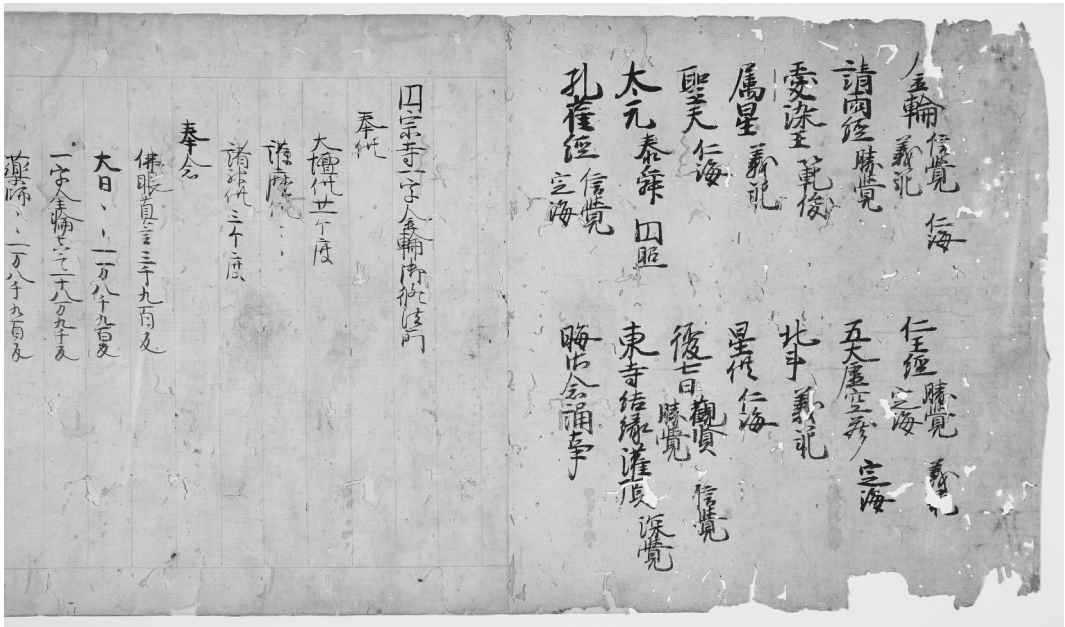
以上の特徴から、本書はおおむね一紙長約五四cmの紙に記された卷数集に、宿紙に記された卷数を挿入して成立したと考えられる（ただし(4)のみ界線の書き方が異なっていることから、宿紙に書かれた卷数は、一連のものではない可能性が高い）。外題・目録と本文ともに成賢の筆として矛盾はないようであるが、もとなつた卷数集の成立については不明なところが多く、紙質の調査なども含めて今後の課題としたい。⁽³⁾

註

- (1) 二〇二二年一月の「古典籍展観大入札会」において購入。
 (2) 西弥生「密教修法と「卷数」」、『古文书研究』五八、二〇〇四、上島享「密教諸修法の構成と歴史の変遷に関する基礎的考察」(『覚禪抄研究会編』『覚禪抄の研究』親王院堯榮文庫、二〇〇四)、藤原重雄「『編数』—翻刻と解題—」(『勸修寺論輯』二、二〇〇五)などを参照。また、近年の卷数を用いた研究に、斎木涼子「後七日御修法と「玉体安穩」」『平安時代の宗教儀礼と天皇』(『塙書房』、二〇二四)などがある。
 (3) 成賢については、西弥生「遍智院成賢と三宝山流」『中世密教寺院と修法』(勉誠出版、二〇〇八)を参照。

表 『先徳卷数』の構成

番号	項目	年月日	西暦	阿闍梨	対象	備考	関連史料
1	金輪	永保二・二・二八	一〇八二	信覚	白河天皇	覚禪抄に収載、於円宗寺	
2	金輪	(不明)		仁海		宿紙、「小野僧正巻数云々」との書入あり	
3	金輪	寛治		義範	堀河天皇		
4	金輪	治暦二・七・一二	一〇六六	義範	皇太子尊仁親王		
5	仁王経	長治二・閏二・二	一一〇五	勝覚	堀河天皇	宿紙、「同三年巻数同之」との書入あり	
6	仁王経	保延四・一〇・一七	一一三八	勝覚	崇徳天皇		
7	仁王経	(承暦・永保頃)		義範	関白左大臣藤原師実	義範の権律師昇任は承暦2年	仁王経法勘例
8	仁王経	長承二・五・二四	一一三三	定海	鳥羽上皇	覚禪抄に収載	
9	仁王経	長承一・九・二七	一一三二	定海	崇徳天皇	裏書	仁王経修法問答
10	仁王経	保延六・二・二八	一一四〇	定海	崇徳天皇	裏書	仁王経修法問答
11	仁王経	康治二・一・二九	一一四三	定海	近衛天皇	裏書	仁王経修法問答
12	請雨経	永久五・六・二二	一一一七	勝覚		覚禪抄に収載	大日本史料3-18、請雨経法日記
13	五大虚空蔵	久安三・二・二八	一一四七	定海		本文が省略される	
14	愛染王	嘉承二・一・一五	一一〇七	範俊	鳥羽天皇	本文が省略される	
15	北斗	寛治二	一〇八八	義範	若宮殿下	本文が省略される、義範はこの年3月に東寺長者を辞し、閏10月に寂す	
16	属星	応徳二	一〇八五	義範	大法主権少僧都		
17	星供	長元六・二・二六	一〇三三	仁海	女大施主某	宿紙、遍数に収載	大日本史料1-5、御質抄
18	星供	長元六・二・二二	一〇三三	仁海	関白左大臣藤原頼通	遍数に収載	後七日御修法部類
19	聖天	(不明)		仁海		於曼荼羅寺、「小野僧正巻数也」との書入あり	東寺長者補任
20	後七日	延喜二・一・一五	九二一	観賢	白河天皇	覚禪抄・遍数に収載	大日本史料1-5、御質抄
21	後七日	承暦二・一・一五	一〇七八	信覚	崇徳天皇		
22	太元	天治二・一・一四	一一二五	勝覚		請僧交名	大日本史料1-7
23	東寺結縁灌頂	天治二	九四〇	泰舜		覚禪抄に収載	大日本史料1-9
24	孔雀経	天曆五・五・六	九五〇	円照	三条天皇		永昌記、祈雨日記、孔雀経法記
25	孔雀経	寛弘九・九・一六	一〇二二	深覚			大日本史料3-5
26	孔雀経	永保二・八・一三	一〇八二	信覚			
27	孔雀経	康和二・八・二二	一一〇〇	定賢	右大臣藤原忠実	裏書	
28	孔雀経	長承三・閏二・二二	一一三四	定海	待賢門院藤原璋子	裏書	
29	孔雀経	康平六・三・二八	一一六三	定海		裏書、請僧交名	
30	晦御念誦	長久五・一〇・二五	一一四四	定海		仁海の書状	



表紙見返し

〔凡例〕

- 一、翻刻は通行の方針に倣う。
- 一、改行は底本のままとする。
- 一、文字は通行の字体に改め、読点及び並列点を加える。
- 一、朱書は『』で示す。
- 一、各紙の終わりに「(第〇紙)」と記す。
- 一、巻数・文書に便宜番号を付す。

〔翻刻〕

(外題) 大先徳卷数 成賢

(表紙見返し)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 金輪 <small>信覚 仁海</small> | 仁王經 <small>勝覚 義範</small> |
| 請雨經 <small>勝覚</small> | 五大虚空藏 <small>定海</small> |
| 愛染王 <small>範俊</small> | 北斗 <small>義範</small> |
| 属星 <small>義範</small> | 星供 <small>仁海</small> |
| 聖天 <small>仁海</small> | 後七日 <small>觀賢 信覚</small> |
| 太元 <small>泰舜 円照</small> | 東寺結縁灌頂 <small>深覚</small> |
| 孔雀經 <small>信覚 定海</small> | 晦御念誦事 |

(本文)

①円宗寺一字金輪御修法所

- 奉念
- 奉供
- 大壇供廿一个度
- 護摩供、
- 諸神供三个度

〔(第一紙)〕

仏眼真言三千九百反

大日、一万八千九百反

一字金輪真言一十八万九千反

薬師、一万八千九百反

延命、一万八千九百反

不動真言一万八千九百反

護摩真言二千一百反

右、奉為

〔百河〕聖朝安穩、增長宝寿、兼天下安樂、万民豊樂、始自

今月廿一日至于同廿八日七個日夜之間、率八口僧侶殊致

精誠、奉修如件、

〔百河〕永保二年十二月廿八日行事威儀師伝燈大法師位恩紹

阿闍梨僧正法印大和尚位信覚」(第三紙)

②金輪法〔百河〕小野僧正卷教云々、

奉念

仏眼

一字金輪根本呪大日内心呪

遍照仏頂

弁事仏頂

普通仏頂

无能勝仏頂

右奉為

金輪聖王御息災安穩、增長宝寿、恒受快樂、本尊

三昧速疾眼前、海内衆庶、威徳速得成就、无辺

御願、決定円満、從至于日夜之間、引率八口僧侶云々、

〔金輪也〕
③御修法所

奉供

大壇供六百十八箇度

護摩供、

諸神供六十一箇度

奉念

仏眼真言 遍

大孔雀明王、

一字金輪仏頂、

成就一切明、

大日如来、

右、奉為
〔堀河〕金輪聖王御息災安穩、增長宝寿、恒受快樂、

无辺御願、決定円満、始自三月十日至于今月今日

二百六箇日夜之間、引率六口大法師等、殊致精誠

奉修如件、

〔堀河〕寛治 年 月 日 行事大法師

阿闍梨権少僧都義範

④御祈願所

奉供

一字金輪供一百二十六箇度

奉念

仏眼真言一万二千六百遍

大日、

一字金輪仏頂、一万二千六百、

大仏頂陀羅尼八百五千、

破諸宿曜明二千七百二十、

」(第五紙)

成就一切明八百五十、

右、奉為（尊仁親王）儲君殿下御息災安穩、增長宝寿、恒受

快樂、无边御願、決定成就、始自六月七日至于今月今日

五七箇日之間、殊致精誠、奉修如件、

〔後冷皇〕治曆二年七月十二日 阿闍梨伝燈大法師位義範

┌（第六紙）

⑤仁王經御修法所

奉供

大壇供六十三箇度 護摩供六十三箇度

十二天供三七箇度 聖天供六七箇度

諸神供一七箇度

奉誦

仁王般若經二千三百六十部

奉念

仏眼真言六千三百遍 大日真言六千三百遍

本尊真言二十五万遍 不動真言六千三百遍

降三世真言六千三百遍 軍荼利真言六千三百遍

大威徳真言六千三百遍 金剛夜叉真言六千三百遍

成就一切明真言六千三百遍 護摩真言六千三百遍

一字金輪真言六千三百遍

右、奉為

（堀河）金輪聖主玉体安穩、增長宝寿、兼為

天変恠異、消除解脫、始自二月十日至于今月今日

并三七个日夜之間、引率廿口大法師等、殊致精誠、奉

修如右、

〔堀河〕長治二年潤二月二日 行事大法師

同三年卷数同之、但伴僧十六口、阿闍梨法眼和尚位勝覚

┌（第七紙）

⑥仁王經御修法所

奉供

大壇供卅二箇度

護摩供卅二箇度

十二天供二七、

聖天供二八、

諸神供六箇、

奉念

仏眼真言五千五百遍

大日、八千四百遍

本尊、廿三万一千遍

護摩、四千二百遍

不動、四千二百遍

降三世、四千二百遍

軍荼利、四千二百遍

大威徳、四千二百遍

金剛藥叉、四千二百遍

大自在天、七千、

帝尺天、

火天、

閻魔天、

羅刹天、

水天、

風天、

毗沙門天、

大梵天、

┌（第八紙）

地天、、、

日天、、、

月天、、、

聖天、、、

金輪仏頂、、、

奉誦

仁王般若經 部

右、奉為

〔崇徳〕金輪聖主天長地久、玉体安穩、增長宝寿、无边御

願、決定円満、決定成就、天変恠異、皆悉消除、未

解脱、宮内安穩、諸人快樂、始從去三日至于今日二七

箇日之間、引率十六口伴侶、殊致精誠、奉修如右、

〔讀岐〕保延四年十月十七日 阿闍梨權大僧都勝覺

⑦御祈願所

奉供

仁王供六七箇度

神供三箇度

奉念

仏眼

大日

仁王般若真言

本尊真言

一字金輪

奉誦

新翻仁王經 部

右、奉為関白左丞相殿下御息災安穩、增長

福寿、恒受快樂、无边御願、決定円満、始從今月十二日

至于今日、殊致精誠、奉祈如件、

仁王經法、
年 日 阿闍梨權律師義範

⑧御修法、所

奉供

大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

十二天供一七箇度

聖天供二七箇度

諸神供三箇度

奉誦

仁王般若經七百五十部

奉念

仏眼真言五百遍

大日真言二千五百遍

仁王般若陀羅尼二万五千遍

不動明王真言二千五百遍

降三世明王真言二千五百遍

軍荼利明王真言二千五百遍

大威徳明王真言二千五百遍

金剛藥叉明王真言二千五百遍

一字金輪真言二千五百遍

右、奉為

〔鳥羽〕太上天皇玉体安穩、增長宝寿、恒受快樂、始自今

月十七日迄于今日并一七个日夜之間、率二十口伴侶、殊

致精誠、奉修如件、

〔第一〇紙〕

〔讀鼓〕長承二年五月廿四日 阿闍梨法印大和尚位定海

⑨ 神泉苑御修法所

奉供

大壇供二十一个度

護摩供、、、

十二天供十五个、

聖天供十五个、

諸神供一七個、

奉誦

大雲輪請雨經二百一十部

奉念

仏眼真言二千一百反

大日、、、二十一万反イ

本尊、、、二十一万反イ

大金剛輪陀羅尼二百、一百五十反イ

一字金輪、三千、

右、依綸旨、始自今月十四日至于今日、為甘雨普潤、

五穀成熟、引率二十口大法師等、殊致精誠、奉修

如件、

〔鳥羽〕永久五年六月廿一日 行事大法師賢円

阿闍梨權小僧都勝覚法眼和尚位イ

⑩ 御修法所

奉供

大壇供六十三個度

護摩供、、、

諸神供九个、

┌ (第一一紙)

奉念

仏眼真言

大日真言

本尊真言

八字文殊、、

金剛吉祥成就明

破諸宿曜明

成就一切明

軍荼利、、

一字、、

右、奉為如常

〔近衛〕久安三、二月八日 行事大法師如真

阿闍梨、、定海

⑪ 御修法所

奉供

大壇供

護摩供

神供

奉念

仏眼真言

大日、、

本尊、、

平等王、、

三種、、

一字、、

右、奉為鳥羽金輪聖皇玉体安穩、宝寿長遠、

┌ (第一二紙)

兼又為消除、天變恠異、日月失度、妖孽不祥、厭
魅呪咀、始自潤十月廿七日至于今月今日七箇日夜
之間、率六口伴僧、殊致精誠、奉修如件、

〔堀河〕嘉承二、十一月五日 阿闍梨法印大僧都範俊

⑫北斗供

奉供

北斗供二七個度

奉念

八字文殊

北斗

御本命星

七曜惣呪

廿八宿

仏慈護

奇特仏頂真言

右、奉為若宮殿下云々、

〔堀河〕寛治二、 日 權少僧都義範

⑬奉供

御属星供一七箇度

奉念

八字文殊

計都

北斗

琰魔

一字

右、奉為大法主權少僧都御息災安穩。備以

┌ (第一三紙)

香茶之奠、祈以攘災之語、殊致精誠、奉修如件、

〔百河〕応徳二、 月 日 權律師義範

⑭謹言

奉供

北斗武曲星供十八箇度

当年御属星辰星供十八箇度

御本命宿星供十八箇度

奉念

武曲星真言一万八千反

辰星真言一万八千反

二十八宿惣真言一万八千反

右、今年六箇度每御本命日弁備供物、奉祈女大施主

御息災安穩、增長福寿、恒受快樂、殊致精誠、奉祈

如件、

〔後一条〕長元六年十二月廿六日 權大僧都仁海

⑮御祈願所

奉供

八字文殊及八大菩薩供八十三箇度

尊星王北斗七星供八十三箇度

御本命並廿八宿星供八十三箇度

御当年属九曜供八十三箇度

奉念

八字文殊及八大菩薩真言八千三百遍

尊星王並北斗七星真言八千三百遍

御本命並廿八宿真言八千三百遍

当年御属星並九執真言八千三百遍

┌ (第一四紙)

┌ (第一五紙)

┌ (第一六紙)

┌ (第一七紙)

一字頂輪王根本真言八千三百遍

右、依仰旨、奉為（藤原賴通）闕白左府殿下增長福壽、以

每月吉日人定時弁備奠物、依法礼供、然則啓白

以祭文之曲、祈禱以攘災之辭、至誠奉修如件、

〔後一巻〕長元六年十二月 日 權大僧都仁海

⑯曼荼羅寺

奉供

大聖歡喜天供_△个度

神供三箇度

奉念

大自在天真言_△遍

大聖歡喜天、_△遍

右、依宣旨、為顯放火者、奉修如件、

年月日 行事

阿闍梨

（仁海）
小野僧正卷数也、

⑰宮中真言修法院

供奉正月後七日御修法事

合

奉誦

宝生如来真言四万八千遍

仏眼真言、_△、_△、

不動明王真言六万六千反

大吉祥天真言六十五万百廿反

護摩真言六万六千反

聖天真言一万四千反

┌（第一八紙）

大日并宝号三万五千反

薬師宝号、_△、_△、

観音宝号、_△、_△、

奉供

胎藏大壇廿二度

息災護摩壇、_△、_△、

增益護摩壇、_△、_△、

五大明王壇、_△、_△、

聖天壇十四、

十、_{（三）}天壇廿二、

神供三度

右、依例正月後七日夜間、奉為

国家、致誠奉供如件、

〔醒〕延喜廿一年正月十五日 阿闍梨權大僧都法眼和尚位觀賢

⑱宮中真言院御修法所

奉供

大壇供二十一箇度

息災護摩供二十一箇度

增益護摩供二十一箇度

五大尊供七箇度

歡喜天供十四箇度

十二天供七箇度

諸神供三箇度

奉念

大日真言三万遍

仏眼真言三万遍

┌（第一九紙）

藥師真言三万遍

觀音真言三万遍

延命真言三万遍

不動真言三万遍

吉祥天真言三万遍

護摩真言二千一百遍

一字真言二千一百遍

右、依例、始自今月八日七箇日夜之間、奉為

〔白河〕聖朝安穩、增長宝寿、兼天下泰平、五穀成就、

十五口大法師等、殊致精誠、奉修如件、

『白河』承暦二年正月十五日 行事威儀師伝燈大法師位

阿闍梨僧正法印大和尚位信覺

①9真言院後七日御修法所

奉供

大壇供二十一箇度

息災護摩供二十一箇度

增益護摩供二十一箇度

五大尊供二十一箇度

十二天供七箇度

歡喜天供十四箇度

諸神供三箇度

奉念

仏眼真言三万遍

大日、、、、

藥師、、、、

延命、、、、

不動、、、

吉祥天、、、三十万遍

一字、、、二千一百遍

右、奉為

〔崇徳〕金輪聖王天長地久、玉体安穩、增長宝寿、兼為年

穀成就、天下太平、率十四口大法師等、殊致精誠、後七

日御修法、依例奉修如件、

『讃岐』天治二年正月十四日 阿闍梨権大僧都勝覚

②0天治二年真言院後七日御修法請僧事

阿闍梨権大僧都法眼和尚位勝覚

長朝阿闍梨

賢円、、、聖天供、

頼譽、、、十二天供、

賢覚阿闍梨

維寛大徳

行耀、、、

貞実、、、舍利守、

大行事大法師賢円

本供物請児犬丸

以前、夾名等如件、

胎藏也、年月日 行事

於土御門殿加持香水、御論議三番、加持香水後

被下法務宣旨、

講師覺雅大法師〔東大寺、三論宗、源顯房〕

〔源顯房〕六条右大臣息、

②1太元御修法所謹奏

┌ (第二紙)

供奉御修法之状

大壇所

護摩壇一所

十二天供七度

神供七度

奉念

太元結護真言廿万遍

護摩真言二万一千遍

阿闍梨内供奉十禪師伝燈大法師〔位脱〕泰舜年六十一、真言宗、元興寺、

護摩師伝燈大法師位泰幽年五十八、真言宗、元興寺、

持明僧廿口

伝燈大法師位真紹年七十六、真言宗、元興寺、

伝燈大法師位泰興年七十一、真言宗、東大寺、

平珎年、真言宗、大安寺、

延華年、

円照年、

行観年、

安憲年、

寛韶年、

如照年、

常修年、

頼照年、

長金年、

法支年、

證空年、

聖珎年、

恵因年、

興延年、

寛算年、

遍空年、

右、依宣旨、二七箇日夜之間、兵革之事為未然消除、

致誠專慎、勤修供奉如件、謹奏、

〔朱雀〕天慶三年正月廿一日行事伝燈大法師位泰幽

阿闍梨伝燈大法師位泰舜

内供奉十禪師伝燈大法師位円照

件法始自正月十四日至于同廿一日七箇日夜被修之

但以他本可校合也、

②臨時太元御修法所謹奏

供奉御修法之状

大壇供七度

護摩供廿一度

十二天供七度

神供七度

奉念

太元結護真言十六万八千遍

護摩真言二万一千遍

一字真言三万三千六百遍

阿闍梨伝燈大法師円照年五十五、真言宗、元興寺、

番僧十五口

伝燈大法師位延禪年七十一、真言宗、元興寺、

伝燈大法師位行観年五十五、真言宗、元興寺、

伝燈大法師位安憲年五十四、

〔第二三紙〕

如照、、、
静照、、、
寛算、、、
湛然、、、
聖珠、、、
遍空、、、
妙鑒、、、
興好、、、

伝燈満位僧承日年卅九、
臘二十、

行事伝燈伝慶湛年卅一、
臘十一、真言宗、元興寺、

右、依仰旨、始自去年廿八日半夜至于今月六日々中一七」(第二四紙)

箇日夜之間、天変恠異・兵革之事為未然消除、致誠

專慎、勤修供奉如件、謹奏、

「言上」天曆五、五月六日 阿闍梨円照

②東寺

供奉了
供奉恒例灌頂御願事

奉供

大壇二前各八供、

小壇廿六前各二供、

奉念

大日真言五千反

仏眼、五千反

不動、五千反

阿闍梨

権大僧都法眼和尚位深覚

灌頂者

神分十六所

僧六十九人

沙弥一人

尼七十人

大男九人

小男六人

右、奉為聖朝安穩、增長宝寿、国家豊楽、

以今月十五日、昼行三昧耶戒、夜修結縁灌頂、致誠

供奉如件、

「二条」寛弘九年九月十六日都維那伝燈法師位

造寺勾当伝燈大法師位

寺主伝燈大法師位

上座伝燈大法師位

別当伝燈大法師位

権大僧都法眼和尚位

大僧正法印和尚位

④孔雀經御修法所

奉供

大壇供四十五个度

護摩供四十五个度

聖天供三十个度

十二天供十五个度

水天供三十个度

諸神供六个度

奉誦

大孔雀明王經六百四十七部

」(第二五紙)

奉念

大日真言一万反

仏眼真言一万五千反

護摩真言五千四百反

孔雀明王真言三十万反

一字金輪真言一万反

右、依宣旨、於東寺灌頂院、為祈請甘雨、始從七月

廿八日至于今日十五个日夜之間、廿一口僧綱大法師、殊レ(第二六紙)

致精誠、奉修如件、

〔百河〕永保二年八月十三日行事威儀師伝燈大法師位

②5真言院 晦御念誦事

右御念誦三箇日夜間已有口伝、今

誦無人勤修、仍今度以阿闍梨

可令奉修由、可被奏聞、候

參修乎、

一、御塔金物事璉城寺金物不中用之由

義忠朝臣鉄具可請用之由一定之趣、經奏聞可被下

宣旨之状、言上如件、

〔後朱雀〕長久五年十月廿五日 僧正法印大和尚位仁海レ(第二七紙)

(裏書)

②6孔雀經御修法所

奉供

天壇供六十箇度

護摩供、レ、レ、レ、

十二天供二七個度

聖天供二十八個度

諸神供六個度

奉誦

大孔雀明王經六百十部

奉念

仏眼真言八百三十反

大日真言三千九百反

本尊真言八十三万反

大金剛輪真言二百八十反

一字金輪真言三千九百反

右、奉為〔藤原忠実〕右大臣殿下御息災安穩、增長福壽、恒受

快樂、无边御願、決定成就、始自今月八日至于今日并

二七箇日夜之間、引率十二口大法師等、殊致精誠、

奉修如件、

康和二年八月廿二日行事大法師

大阿闍梨法印大和尚位

②7御修法所

奉供

大壇供四十二箇度

護摩供四十二箇度

十二天供十四箇度

聖天供二十八箇度

諸神供六箇度

奉誦

大孔雀明王經一千百三十九部

奉念

仏眼真言八百八十二遍

大日真言五千二百遍

本尊真言十五万遍

延命真言五千二百遍

不動真言五千二百遍

大吉祥天真言五千二百遍

一字金輪真言五千二百遍

右、奉為

(藤原尊子)

国母仙院玉体安穩、增長宝寿、恒受快樂、

无边御願、決定円満、始自十二月廿七日至于今月

今日并二七箇日夜之間、引率廿口僧綱大法

師等、殊致精誠、奉修如件、

長承三年潤十二月十二日行事大法師慶寬

阿闍梨法印權大僧都定海

⑳注進

孔雀經御修法修僧等夾名事

阿闍梨權僧正法印大和尚位△

伝燈大法師位覺俊

伝燈大法師位戒禪

伝燈大法師位頼尊

伝燈大法師位信縁

伝燈大法師位経寿

伝燈大法師位義範

伝燈大法師位忠昭

伝燈大法師位明真

伝燈大法師位覺尋

伝燈大法師位時円

伝燈大法師位済覚

伝燈大法師位良慶

伝燈大法師位重秀

伝燈大法師位源尊

伝燈大法師位頼昭

伝燈大法師位長尊

伝燈大法師位明信

伝燈大法師位真慶

伝燈大法師位教深

伝燈大法師位経尊

右、修僧夾名等注進如件、

仁王經法 康平六年三月廿八日行事威儀師伝燈大法師位△

⑳御修法所

奉供

大壇供四十二箇度

護摩供四十二个度

十二天供二七个度

聖天供二十八个度

諸神供六个度

奉読

仁王般若經一千五百部

奉念

仏眼真言一千反

大日、五千、

仁王般若タラニ五百、

不動明王真言五千反

降三、

軍荼利、

大威徳、

金剛葉叉、

一字金輪、

右、奉為

(崇徳)金輪聖王玉体安穩、增長宝寿、天変恠異、未然歟、消除解脫、

始自今月十三日迄于今日并二七箇日夜之間、率二十口

伴侶、殊致精誠、奉修如件、

長承元、九月廿七日阿闍梨法印大和尚位

於仁寿殿被修之、

仁王經、
③⑩御修法所依神事於樋口室町壇所被修之、
七日之内御惱平癒勸賞阿闍梨五口被寄灌頂堂、

奉供

大壇供二十一个度

護摩供二十一个度

十二天供一七箇度

聖天供二七个度

諸神供三个度

奉誦

仁王般若經八百五十部

奉念

仏眼真言五百反

大日真言二千五百反

仁王般若陀羅尼二万五千反

不動明王真言二千五百反

降三世、

軍荼利、

大威徳、

金剛葉叉、

一字金輪、

右、奉為

(崇徳)金輪聖王玉体安穩、增長宝寿、恒受快樂、无边御願、決定

円満、始自今月一日迄于今日并一七个日夜之間、引率廿口

伴侶、殊致精誠、奉修如件、

保延六年二月八日 行事大法師慶賢

阿闍梨大僧正法印大和尚位定海

③⑪卷数如前、依日次不宜一日延修、勸賞以賢覺叙法眼、護摩壇、

右、奉為

(近衛)金輪聖王玉体安穩、增長宝寿、恒受快樂、无边御願、

決定成就、兼天変恠異、未然解脫、始自今月廿一日至于

今日并一七个日夜之間、引率廿口伴侶、殊致精誠、奉修

如件、

康治二、正月廿九日 行事大法師慶賢

阿闍梨大僧正法印大和尚位定海